令和５年９月１６日(土)

於；福　岡　武　道　館

講師　　岩　熊　昌　毅

**剣　道　指　導　法　　剣道指導要領(P6.7)より**

**１．指　導　目　的**

・剣道の理念**「剣道は剣の理法の修錬による人間形成の道である。」**　　　昭和50.3.20制定

「剣」…　日本刀　「理法」…　剣法上の理論・道筋　「人間形成」…　自己形成、社会形成

・高い水準の剣道　→　事理一致、心気力一致

**２，指導者としての在り方（指導者は剣道を高める人、広める人）**

・自己の修養に努める。　　→　剣道指導者である前に、立派な社会人であること。

・確固たる信念と愛情を持った指導者であること。→　誠心誠意、技能の優劣に関係なく

・指導を受ける者とともに修錬する。→　高い技術と理論及び審判技術に熟達すること。

・技術の向上に努力する。　→　剣道の特性を能率的、的確な指導ができること。

・教えることに喜びを持つ。→　優れた才能の発見とその伸長ができること。

**３．指導のねらい　「清く、正しく、たくましい」人間の育成**

・日本古来の伝統文化としての指導法（将来に正しく伝承する。）

・師弟同行（明確な言語説明と的確な示範による指導等）

・基本を重視した指導（対人的技能の向上、礼法の習得等）

・意欲と興味を持たせながら指導（自己の確立、社会的に望ましい態度の向上、剣道に親しみ、明朗で心豊かな人間の育成等）

・健康の維持・増進と体力の向上（年齢、性別、体力、生活等）

・安全管理（竹刀・道具の点検、道場の稽古前・稽古後、衛生管理等）

**４．指　導　目　標**

初心者、　初級者（三段以下）、　中級者（四段、五段）、　上級者（六段以上）

適切な指導　→　「剣道指導要領」「講習会資料」を確認

**５．指導法講習における「重点事項」**

※剣道講習会資料(Ｐ９)にて確認